

# 令和元年度（2019年度）研修開催報告

いいがいネットでは、令和元年度に15件の研修・講座を開催しました。講師及び参加者の皆様、また、金沢市医師会並びに在宅医療連携グループの皆様には大変お世話になりました。これからは皆様のお役に立てる研修を目指して参ります。

研修の概要と参加者から寄せられた声を紹介します。

No	研修名/概要	テーマ	講師	人数
1	在宅医療・介護連携支援センター／ 障害者基幹相談支援センター合同研修会 医療・介護・障害福祉にまたがる複合的 課題の理解と関係機関の連携強化を図る。	地域共生社会・ 異なる専門職のコラボ・ 我が事・丸ごと	金城大学 内 慶瑞 先生 金沢地域包括支援センターもろえ 花山 清香 氏 金沢市障害者基幹相談支援センター 寺西 里恵 氏	97
2		人生いろいろ・お酒もいろいろ ・アルコール問題について考える	フォレスト倶楽部理事長 鶴 幸一郎 氏	85
3	在宅医療災害時対応研修 災害時に必要な支援を学び、多職種 の連携強化を図る。	災害支援への備えと役割	北陸学院大学 田中 純一 先生 広島県坂町地域支え合いセンター 木下 健一 氏 石川県ホームヘルパー協議会 鍋谷 晴子 氏	57
4		災害避難所机上訓練	福島県立医科大学 安井 清孝 先生	45
5	在宅療養病院出前セミナー ※2～3ページ参照	石川県立中央病院/りくつなケアネット金澤合同		80
6		金沢赤十字病院/いしかわ921在宅ネットワーク合同		75
7		浅ノ川総合病院/金沢元町在宅医療を考える会合同		61
8	診療所スタッフ向け研修会 診療所スタッフが外来患者の変化に 気づいた際の関係機関との連携を学ぶ。	この患者さんいつもと違う？ 気づいたら、地域に繋げよう	金沢市地域包括支援センターかすが 橋 典孝 氏	6
9	在宅療養セミナー 高齢者の疾患の基礎的な医療知識や在宅 での注意事項を学び、患者・利用者への対 応や医療関係者との連携強化に役立つ。	在宅でよく遭遇する 皮膚科・眼科の疾患について	長谷川ひふ科クリニック 長谷川 洋一 先生 みやうち眼科 宮内 修 先生	56
10	ハートネットホスピタル体験会 (金沢市医師会と共催) ICTによる情報共有を推進するため、 実際にタブレットを使って体験する。	ハートネットホスピタルで できること	大野内科医院 大野 秀棋 先生 金沢ホームケアクリニック 黒瀬 亮太 先生 さかえ内科クリニック 大場 栄 先生 杉原整形外科クリニック 杉原 信 先生 藤村有松眼科医院 藤村 茂人 先生 土原医院 土原 一真 先生	20
11			24	
12			30	
13	在宅医療症例検討会 (金沢市医師会と共催) 症例を総合的・多面的に掘り下げるこ とで、在宅医療の質の向上を図る。	退院後の「食べる」について	金沢ホームケアクリニック 黒瀬 亮太 先生 ますた内科クリニック 舛田 英一 先生 やまと@ホームクリニック 大和 太郎 先生	70
14			75	
15	在宅のフットケア ～水虫と爪切り～	山崎皮膚科医院 山崎 真孝 先生 長谷川ひふ科クリニック 長谷川 洋一 先生	44	

## 参加者の声

介護と障害の各専門職  
の当事者への関わり方の  
違いがわかった。  
基幹相談支援センター  
の役割が理解できた。

過去の大雪対応を振り  
返ることができた。  
机上訓練では避難所で  
実際に遭遇する課題をイ  
メージできた。

利用者を皮膚科・眼科  
の先生に繋がりたいと思っ  
た。

ファミリーターの先生  
がやさしく指導してくれた。  
ハートネットホスピタルに  
ぜひ登録したいと思った。



## 編集後記

新型コロナウイルスの影響で研修会の開催が難しい中、少しでも皆様と繋がることができるよう、この度、初めてニュースレターを発行しました。この状況が収束し、皆様と顔合わせできる日が一日でも早く訪れるよう願っています。今年度の予定が立ち次第早く皆様にお知らせできるよう努力しますのでホームページのチェック宜しくお願いいたします。

いいがいネット



【編集・発行】(公財)金沢健康福祉財団  
金沢市在宅医療・介護連携支援センター(いいがいネット)  
〒920-0912 金沢市大手町3番23号《金沢健康プラザ大手町 西館》

TEL.076-222-0172 FAX.076-222-0182  
Eメール. e-gai-net@kanazawa-kenko-plaza.or.jp



ホームページ



良医介 NET

金沢市在宅医療・介護連携支援センター 【令和2年7月 Vol.1】

## いいがいネット ニュースレター

## ごあいさつ

金沢市在宅医療・介護連携支援センター センター長 橋本 英樹



平素より、金沢市在宅医療・介護連携  
支援センター(いいがいネット)をご利用  
いただき厚く御礼申し上げます。

さて、2月に金沢で新型コロナウイルス  
感染症が確認されて5か月が経過と  
してあります。皆様におかれましては  
大変な苦労と不安を感じていらっしゃる  
ことと存じます。医療・介護の現場は  
患者様、利用者様と話し、手当をし、  
触れ、いわゆる密接することで成り立つ  
仕事です。また我々も顔の見える関係  
をうたってきました。今後はすくなく  
とも密閉・密集は避けなければならない  
と思われまます。研修会等もしばらくは  
できなくなりました。

病院、介護施設での集団感染の発生が  
全国で報告され、ヨーロッパなどでは  
死亡者の半数以上が介護施設での感  
染者とも報道されています。石川県・  
富山県での死亡者

もいわゆる手を尽くした重症者の死亡  
ではなく、そのほとんどが病院、介護  
施設でDNRを選択した方々です。

今後、我々医療、介護に携わる者が  
このウイルスと共存するためには、職  
場で何が求められるでしょうか。ウ  
イルスを持ち込まないためには、ま  
ずは職員とその家族が感染しないこ  
とです。また患者様、利用者様の熱  
がないからといっても安心できません  
。感染者は発症の2日前から感染力  
が高くなるといわれていますし、全  
くの無症状の方もいるわけです。そ  
の家族の健康状態にも気を付けてお  
く必要があります。自分自身はしっ  
かり標準予防策(手洗い、手袋やマ  
スクの着用など)をとり、人から人  
にウイルスを接触感染させないように  
常に手洗いが必要となります。もし  
も、発熱者が増えてくる兆候があれば  
、すぐに帰国者・接触者相談センタ  
ーに連絡しましょう。

## いいがいネットのこれまでの取り組みとこれから

金沢市在宅医療・介護連携支援センター「  
いいがいネット」は、地域の医療と  
介護の連携を推進するための相談窓  
口・拠点として平成29年10月に開  
所となりました。センターでは相談  
対応や各種研修の実施、在宅医療に  
関する普及啓発などを行っています  
。この取り組みは平成26年の介護  
保険法改正により、在宅医療と介  
護を一体的に提供するための支援  
を行う在宅医療・介護連携推進事  
業になります。

事業の開始にあたり金沢市におけ  
る連携の課題を検討しそれらに対  
して病院窓口一覧の作成、多職種  
研修の開催、入退院時の医療・介  
護の連携指針作成、ケアマネタイ  
ム一覧作成、市民には在宅医療を  
選択できる環境を整っていること  
やかかりつけ医を持つことの周知  
、情報を集約したホームページの  
運営等を行っています。(詳しくは  
ホームページをご覧ください)

金沢市で在宅医療を受けている人  
は2017年、約4000人で、2025  
年では約7800人となると考えら  
れています。また金沢市の医療や  
介護の施設は人口比では全国平均  
を上回っており療養の場は恵まれ  
ていると言えますが今後少なくな  
っていくと思われまます。医療や  
介護、地域の活動などの個々の取  
り組みをつなぎ合わせその力

が最大限に発揮できることが大切  
になります。患者が暮らしの場  
でどのように療養生活を継続して  
いくのかをイメージしながら関  
わり、医療依存度が高くても暮ら  
しの場で療養を継続できるように  
することが病院の役割となります。

医療や福祉、介護に関わる人々を  
多職種と言い、それぞれ専門家で  
発展途上であり、職種や職場が違  
えば立ち位置や視点も異なります  
。多職種研修でのグループワーク  
では、参加者それぞれ大切に思っ  
ていることがわかり、お互いの距  
離が縮まるのではないのでしょうか  
。「遠くの親戚に久しぶりに会っ  
たけど話が噛み合わなかったよう  
な関係」が、「近くの親戚のように  
意思疎通できる関係」になれば  
いいと思います。目標を共有し話  
し合うことで生活や医療を支え、  
住み慣れた地域の中でその人らし  
い暮らしを続けることができるよ  
う頑張りましょう。

いいがいネット